

佐久市佐久っと支援金事業 自己評価報告書

		評価日	平成 29年 3月 31日
団体名	中込商店会協同組合		
事業名	コミュニティーの拠点づくり事業		
対象経費	1,027,648円	支援金額	488,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街が、まちづくりなど各種事業を計画するうえで地域住民のニーズを把握することがますます重要になってきているため、商店街と地域コミュニティーとの結びつきを強化する。</li> <li>・商店街が地域社会の中心として人や情報の交流の場となるべきであるが、住民の参画が不可欠で、地域住民と商店街協働で、安全安心・活力あるまちづくりを推進する必要がある。</li> <li>・カム21にあった学習センターがなくなったため、主に列車通学の高校生に安全で快適な勉強の場を提供することにより、商店街離れが進んでいる若者に、まちに親しんでもらう。</li> </ul>
	<p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中込駅前の空き店舗を賃借し、「ほんわ館」として地域の人たちがいつでも気軽に使えるコミュニティーの拠点であることを中込商店街だよりなどでPRした。</li> <li>・また商店会でも多くの人に「ほんわ館」に親しんでもらえるよう各種事業に活用した。</li> </ul>

事業の活動実績	<p>平成28年度中は事業計画通り当該店舗を賃借し、「ほんわ館」として支障なく地域の人たちの使用に供した。</p> <p>商店街の事業のほかでは、七夕まつり、年末大抽選会などのイベントに使用したほか、まちゼミでは野沢南高校ふれあい同好会による「スマホ、ケータイ使いこなし入門」(4回)、「牛乳パック利用のフラワーアレンジ」(2回)など計12回使用した。</p> <p>カルチャースクール等の使用では咲き織(裂き織)教室、手織り教室…年間約70回使用した。</p> <p>シルバー人材センターの刃物研ぎは年間4回第一土曜日に開催した。</p> <p>平日の夕方からは、主に高校生を対象とした自習室として無料開放した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ほんわ館を中込商店街だより、Webページ、Facebookページで告知することで便利なスペースとしてアピールした。</li> </ul>
---------	--



事業の成果・効果	<p>中込駅前という好立地のため、「駅前のほんわ館」として多くの人に知られるようになり、また商店会のイベント等でも頻繁に使用しているため、ほんわ館を使用した人たちの口コミで、便利に使える会場として認知されるようになった。</p> <p>まちゼミなどでほんわ館を使用した人たちが、食事や買い物などで商店街を利用する効果も見られた。</p> <p>まちゼミのような学びの場に参加するお客様は万事に積極的な人が多く、アンケートなどでまちづくりに関するご意見も多く頂いている。地域協働のまちづくりを進めるうえで良好な素地が出来てきている。</p> <p>自習室は夏涼しく、冬暖かい自由なスペースを提供することで、多くの高校生が利用した。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>主な理由(2、3と答えた場合のみ)</p>
	その他、評価すべき点等	

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

今後の事業展開	<p>中込駅前、カム21跡地の新くろさわ病院と中込会館が平成29年4月にオープンし、学習室もあるため、「ほんわ館」の維持・運営は終了する。</p> <p>チャレンジショップなどとしての活用も検討したが、家賃その他の条件を勘案し、地域の拠点としての役割は中込会館に託し、商店会としては空き店舗対策事業や、商店街とお店のファンづくりのためのまちゼミの開催、賑わい創出のためのフリマやマルシェの開催を企画している。</p>
---------	--